



AIによるHSコード特定ツール：HS Code Finder

専門家の知見をAIに。より早く、より正確で、根拠のあるHSコード特定を実現。

株式会社ロジスティック

HSコード分類は、今や世界的な係争リスクです。

EU、米国、インド、英国など主要国でHSコードに関する訴訟や紛争が顕著に増加しています。これは単なる事務作業ではなく、経営に直結する重要課題です。



EU: EU司法裁判所 (CJEU) の新規受理件数は2024年に前年比+12%増加。通関関連の紛争が継続的に発生。



米国: 国際貿易裁判所 (CIT) は「関税分類」を主要案件と明記。分類紛争は絶えません。



インド: CESTATや高等裁判所で分類に関する採決が多数。大手税務ニュースでも頻出の論点。



英国: Brexit後も分類係争 (ペット用品、工業製品など) が継続。

そして、その説明責任は、現場のあなたに求められます。

**「この商品がなぜこのHSコードになるかを
ちゃんと説明してください」**

「今の説明では了承しかねます」



日EU EPAにおける、日本税関からの検認時の実際の質問です。

御社は、この問いに十分な根拠をもって即答できる準備ができていますか？

HSコード係争の争点は、多岐にわたり複雑です。

税関の主張に対し、いかに的確な反証準備ができるかが勝敗を分けます。

GRIの適用

税関側の主張：
見出し文言と部・類注で決着



反証の勘所：
条文要件ごとに事実を分解し、適合/非適合を明示



必要な証拠：
設計図、写真、用途説明



部分品 vs 付属品

税関側の主張：
汎用部品であり本体の部分品ではない

反証の勘所：
“専ら/主として使用”を技術・型式適合で証明



必要な証拠：
取付図、型式適合表



85類 vs 90類

税関側の主張：
汎用電子機器（85類）

反証の勘所：
測定・検出が主機能で90類を主張



必要な証拠：
センサー感度等の試験成績



これら全ての論点に対し、網羅的かつ説得力のある情報を迅速に準備できますか？

従来のHSコード特定方法では、このリスクには対抗できません。

> 根拠が乏しく、係争では戦えない。



Google検索や一般的なWebツール：手軽ですが、情報の信頼性や網羅性に欠け、分類プロセスの「なぜ」を説明できません。



日本関税協会のZei-ROM：優れた情報源ですが、複雑な解釈や複合的な製品の分類には深い専門知識と時間が必要です。



輸入統計品目表：正しい分類の基礎ですが、膨大な注や解説を読み解き、正確に適用するには高度なスキルが求められます。

では、AIを使えば解決するのでしょうか？

残念ながら、一般的なAIにも重大なリスクが存在します。



AIハルシネーション (Hallucination)

AIは事実に基づかない、もっともらしい「嘘」をつく可能性があります。HSコードのような正確性が求められる業務において、これは致命的な欠陥となり得ます。

- 多くのAIによるHSコード判定ツールは、正しい分類プロセスを学習していないため、誤った結果を提示するものが散見されます。
- AIが出した結果を鵜呑みにすることは、新たなリスクを生み出すだけです。思考ロジックの確認とダブルチェックが不可欠です。

専門家の思考プロセスを学習したAI。それがHS Code Finderです。

▶ 15年の実務ノウハウとAIの融合による、次世代のソリューション。



HS Code Finder (HSCF)は、単なる情報検索ツールではありません。

15年間にわたるHSコード分類の実務ノウハウをAIに学習させ、専門家がたどる「思考のプロセス」そのものを再現することを目指して開発されました。

- 判定プロセスの学習：なぜそのHSコードになるのか、その根拠とロジックを重視。
- 実例に基づく分析：世界のHSコード判例を検索・分析する能力を統合。
- 専門家の知見を搭載：複雑なケースで専門家がどのように判断するかをAIに実装。

私たちの最大の違いは、AIの「教育方法」にあります。

➤ HSコード専門家の知恵を借り、 付番のプロセスをAIに学ばせる。



私たちはAIに単に「答え」を覚えさせるのではなく、FTAアドバイザー業務で長年培ってきた「答えに至るまでの道のり」を教え込みました。
これにより、HSCFは単一のコードを提示するだけでなく、なぜその結論に至ったのか、どの通則や注を適用したのかという「根拠」を明確に提示できます。

結果:これが、税関への説明責任を果たし、社内での見解統一を図るための、揺るぎない土台となります。

HSCFは「答え」を押し付けません。専門家の「判断」を支援します。



1. 複数の選択肢と確度を提示

HSコードを1つに断定せず、可能性のある複数の候補を、その確度 (Confidence %) と共に提示します。最終判断はユーザーが行います。

2. 対話による精度向上

ユーザーが情報を追加することで、精度はさらに向上します。HSCFは、どのような追加情報が必要かを能動的に提示します。

3. 根拠の完全な可視化

HSコードを推定した根拠 (適用通則、類注、判断ポイントなど) を全て明示。これにより、分類プロセスの再現性を担保します。

【HSCF Pro 機能デモ】一枚の写真から、何がわかるか。

会議室に設置されているインターフォンの写真をHSCFにアップロードします。



提供データ：

提供データ：写真1枚のみ

品名／用途：指定なし

材質：指定なし

HSCFの初期解析

写真から得られた情報を自動で構造化します。

• HSCFが認識した情報：

- 構成・セット: 壁掛け受話器一体型
- 型番・画像: AIPHONE TD-1H

デモ結果①：結論 - 確度70%でHSコードを推定

推定HSコード（6桁）：8517.18

JP: 8517.18-000（その他の電話機）

US: 8517.18.0000（Other telephone sets）

EU: 8517 18 00（Other telephone sets）



確度: 70%

要約：画像の壁掛け式受話器（AIPHONE TD-1H）は、施設内での双方向通話に用いるインターホン系の「電話機」に該当する可能性が高く、見出し85.17のうち「その他の電話機」（8517.18）と判断。

デモ結果②：根拠（その1） - なぜ、この結論に至ったのか

適用通則・注

- GRI 1によりまず見出しを検討、関連注に矛盾がないためGRI 6で号を特定。

判定ポイント

- 機能: 壁掛け筐体に受話器・呼出ボタンを備え、音声の送受信を目的とする通信機器。
- 形態: スピーカやマイク単体ではなく、送受話器を備えた「電話機」形態。
- 用途: 公衆網向けではなく、建物内配線での相互通話（インターホン）として設計。

HSCFによる仮定（入力不足を補う前提）

- 公衆交換電話網や無線網には接続しない有線インターホンである。
- 通信機能（音声の送受）を有する単体で完結する端末である。

デモ結果②：根拠（その2） - 他の候補を排斥した理由

排他・除外の理由:

-  **8518（マイク・スピーカ類）**：音響部品・装置であり、通話端末ではないため不適。
-  **8531（電気式信号装置）**：ベル・警報用であり、双方向音声通話を主とする本品とは用途が異なるため不適。
-  **8517.62/69（ルータ等）**：汎用データ伝送機器であり、音声送受話を行う本品の機能と一致しないため不適。

候補HS	理由	棄却理由	確度%
8517.18	電話機形態のインターホン端末	—	70
8517.69	その他の通信機器	「電話機」形態が明確で、より特定の8517.18が優先	20
8531.80	電気式信号装置	双方向音声通話が主機能ではないため	10

デモ結果③ & ④：リスクの指摘と、精度向上のためのガイド



3. 争点・注意

- 親機／子機の区別、配線方式により、実行関税表の号細分や各国の実務が変わる可能性があります。
- 仕様に“PSTN/VoIP/無線接続可”などがある場合は8517内の別号となる可能性があります。



4. 追加で必要な情報

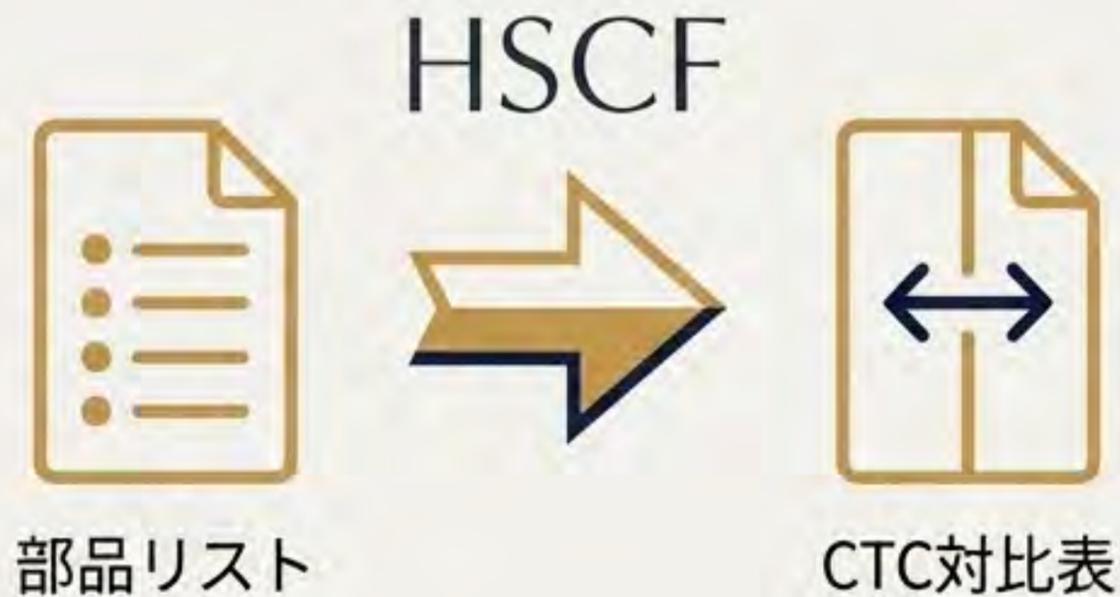
- **具体機能**：通話方式（ハンズフリー有無）、電源仕様
- **接続**：有線種別、親機／子機の関係、セットか単品か
- **メーカー資料**：取扱説明書、データシート、結線図

キーマッセージ：HSCFは、より正確な判断のために「次に何をすべきか」を提示します。

高度な業務を支援：FTA原産地証明におけるCTC証明を効率化

課題:

- 経済連携協定（EPA/FTA）の原産地証明では、関税分類変更基準（CTC）を満たすかどうかの確認が不可欠です。
- これには、構成部品のHSコードを特定し、協定で定められた年次のHSコードに変換する、複雑で時間のかかる作業が必要です。



HSCFのソリューション:

- **一括付番:** 部品リストを一括で処理し、各部品のHSコード候補を提示。
- **HS年次変換:** HS2007, 2017, 2022など、協定で要求される年次のHSコードへ容易に変換。
- **CTC対比表作成 (Pro版):** 最終製品と材料のHSコードを対比させ、CTCルールを満たすかどうかの確認を強力に支援します。

お客様の機密情報は、私たちのAIモデルの学習には一切使用しません。

企業の懸念

- 多くの企業が、入力した情報がAIに学習され、外部に漏洩するリスクを懸念しています。



お客様のデータは
AI学習に利用
されません

HSCFの約束

- HSCFは、お客様が入力された情報やアップロードされた添付ファイルを、AIモデルの学習に利用しない設定（ChatGPTのAPI設定）で運用されています。
- お客様のデータはお客様だけのものです。

セキュリティ対策

- やりとりのデータは、転送中および保存時に常に暗号化されています。

質の高い「根拠」を導き出すには、相応の推論時間が必要です。



HSCFの処理時間：

- より精度の高い結果を得るため、HSCFは複雑で長い推論を行うモデルを選択しています。
- そのため、結果を出すまでに1分～3分程度かかる場合があります。

時間の価値：

- この時間は、単なる検索ではなく、適用されるべきルールを吟味し、複数の可能性を比較検討し、その論理的な根拠を構築するために費やされています。
- 瞬時に得られる根拠の薄い答えではなく、監査や係争に耐えうる「質の高い答え」を提供するための必要な時間です。

お客様のニーズに合わせた2つのプランをご用意しました。

機能領域	Standard	Pro	備考／差分
HSコード特定（GRI対応）	✓	✓	品名・用途・材質からHS候補を特定
添付資料解析（PDF/画像）	—	✓	仕様書や写真から判定根拠を補強
URL解析（製品ページ）	—	✓	メーカーサイト等から仕様を抽出し推定を補強
HS候補の根拠・除外理由表示	✓	✓	
Confidence（確度%）算出	✓	✓	
出典/条文/注の明示	✓	✓	
FTA原産地証明（CTC対比表作成）	—	✓	CTCルール適用のための対比表を生成
HS年次変換（HS2022↔2017等）	—	✓	協定で指定された年次のHSコードへ変換
多言語翻訳＋同義語抽出	—	✓	製品説明の多言語化、通関用語・シノニム併記

Pro版の主なメリット：キーワード以外の情報（画像、PDF、URL）からの高度な解析、およびFTA/CTC関連の強力な支援機能。

HSCF 価格体系

前提条件：

- 表示価格は税別です。
- 契約は四半期単位（3ヶ月分）でのご請求となります。期間中の途中解約はできません。
- 費用は1 ID分です。IDの使い回しが確認された場合、利用停止措置となります。

Standardプラン

初期費用：10,000円

四半期費用：134,000円（3ヶ月分）

(月額換算：44,800円)

Proプラン

初期費用：50,000円

四半期費用：294,000円（3ヶ月分）

(月額換算：98,000円)

お申し込みはこちら: https://bit.ly/HSCF_APP



HSCFは、お客様のニーズと共に進化を続けます。



今後の展開：

継続的な精度向上：最新の分類例規や関税率表解説の更新に対応し、常に精度を高めます。(HS2028対応予定)



API提供：お客様の既存システムと連携可能なAPI化を計画しています。



アカウント管理機能：複数IDを一元管理できる、企業向けアカウント機能を実装予定です。



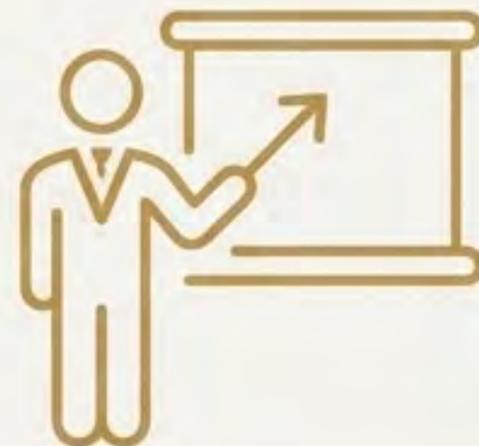
利用形態の多様化：件数単位の課金体系など、より柔軟なプランを検討しています。

現在の利用制限：

- 現在は、輸出を行う企業様に利用を限定させていただいております。
- 1契約1IDでのご提供となります。

私たちは、お客様からのフィードバックを元に、HSCFを継続的に改善していきます。

HSCFの精度と利便性を、ぜひご自身の目でお確かめください。



オファー：

- 無料の説明会および、お客様の製品サンプルを使った個別デモンストレーションを実施しております。
- HSコード分類の課題について、専門家が直接お話を伺います。

お申し込み方法：

- 以下のURLまたはQRコードよりお申し込みください。
- `https://bit.ly/HSCF_Demo`

ご利用にあたっての免責事項

- 本サービスはHSコード候補を提示するAI情報提供ツールであり、法務・税務等の専門的助言ではありません。
- 最終的なコード決定は各国税関の判断に準じます。必ず公式資料等で最終確認を行ってください。
- 提示される候補は、お客様が入力した情報の正確性に依存します。
- 高リスク品（化学品、医療機器等）については、専門家（通関士等）の確認を強く推奨します。
- 本サービスが提供する情報の正確性・完全性を保証するものではなく、利用はユーザー自身の責任で行ってください。
- 機密情報や個人情報の入力はお控えください。

HS Code Finder

会社名：株式会社ロジスティック

住所：浦安市日の出3-3-D-906

ウェブサイト：global-scm.com

お問い合わせメール：hscf@logistique-inc.com

